

# 厚生文教委員会報告書

令和7年1月24日

備前市議会議長 西 上 徳 一 殿

委員長 中 西 裕 康

令和7年1月24日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	調査結果	備 考
1 環境保全についての調査研究 ① 岡山県海ごみ地域対策推進事業について	継続調査	—

- 委員派遣（埼玉県さいたま市立大宮国際中等教育学校、神奈川県茅ヶ崎市）

## <報告事項>

- 带状疱疹予防接種の助成事業について（保健課）
- 備前市第3次健康びぜん21、備前市食育推進計画、第2次備前市自殺対策計画の素案について（保健課）
- 第3期備前市子ども・子育て支援事業計画（案）について（こどもまんなか課）
- 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染者数について（市立病院）
- 年末年始の当番医について（市立病院）
- ALTについて（教育政策課）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	10
1. 環境保全について	10
委員派遣	14
閉会	15

## 厚生文教委員会記録

招集日時	令和7年1月24日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午前10時46分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	土器 豊		守井秀龍
		立川 茂		藪内 靖
		奥道光人		草加忠弘
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	西上徳一		
傍聴者	議員	なし		
	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
説明員	市民生活部長	藤森仁美	環境課長	岡村 巧
	保健福祉部長 兼福祉事務所長	久保山仁也	保健課長	高橋多恵子
	こどもまんなか課長	竹林伊久磨		
	総合教育部長	畑下昌代	教育政策課長	春森弘晃
	総合支所部長	馬場敬士	日生総合支所長	横山修一
	病院総括事務長	藤澤昌紀		
審査記録	次のとおり			

## 午前9時30分 開会

○中西委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日は、各課からの報告事項、所管事務調査を行います。

議事に先立ち、委員長より、2点、連絡事項を申し上げます。

1点目は、本日の委員会閉会后、週明けに迫った当委員会での視察の最終調整及びその他協議を行いますので、お含みおきください。

2点目は、説明員の皆さんに事前に御依頼申し上げます。

2月定例会前に、改めて厚生文教委員会を開催予定ですが、その際には、新年度の新規事業や予算について、詳細をとまでは申し上げませんが、厚生文教委員会の委員が議案を見て初めて新規事業を知ることのないよう、事前に御報告をいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

### \*\*\*\*\* 報告事項 \*\*\*\*\*

それでは、レジュメに沿って、各課より順次、御報告をお願いいたします。

なお、報告事項ごとに質疑を行い、質疑が終了した案件の説明員の方におかれましては、その都度、御退室していただいて結構でございます。

レジュメに記載のない報告事項がございましたら、順次挙手の上、御報告をお願いいたします。

○高橋保健課長 1点目、带状疱疹予防接種の助成事業についてです。

8月1日から、任意接種による65歳以上の带状疱疹予防接種費用の一部の助成を実施しておりますが、令和7年度から、予防接種法の定期接種となることになりました。

これに伴いまして、市の単独事業として実施してきました任意接種への費用助成事業を終了することとなりますので、お知らせいたします。

既に、市のホームページには掲載し、和気医師会の協力医療機関にはお知らせをしております。

市民の皆様には、広報2月号にて周知をいたします。

接種を検討されている方がおられましたら、早めの対応をお願いします。

なお、4月からの定期接種化に伴いまして、接種対象者は65歳から100歳までの5歳ごとの節目の方が対象となります。

また、接種費用につきましては、現在、県内他自治体の情報を収集し、積算している状況でございます。

○守井委員 定期接種になったら、費用的には無料になるということなんですか。

○高橋保健課長 带状疱疹ワクチンは、定期接種でも、予防接種法でB類疾病ということで、現

在のインフルエンザ、それからコロナのワクチンの接種と同じ扱いになりますので、おおむねこれまで接種費用の3分の1を自己負担とさせていただいておりますので、带状疱疹も同様になるかと思えます。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○高橋保健課長 2点目、備前市第3次健康びぜん21、備前市食育推進計画、第2次備前市自殺対策計画の素案について、現在、パブリックコメントを実施しておりますので御報告いたします。

この計画は、市の健康づくりを推進する計画で、健康増進法、食育基本法及び自殺対策基本法に基づく国並びに県のそれぞれの計画の趣旨を踏まえ、また市の総合計画等との整合性を図り、市民の健康づくりの目指す方向性とこれらを達成するための施策について策定するもので、今年度、健康づくり推進協議会で3回の策定委員会を開催し、素案を作成いたしました。

計画期間は、令和7年度を始めとした11年計画となっており、中間年の令和11年度に必要な見直しを行います。

現在、2月7日までを期間としたパブリックコメントを実施しております。

計画案等は、保健課をはじめ総合支所の窓口にも設置しておりますが、委員の皆様にも、電子データにてサイドボックスに提供させていただいております。

お手元に、計画案の概要版をお配りさせていただいております。まだ案の段階ですが、御覧をいただきたいと思えます。

少し説明をさせていただきますが、この計画は、いつまでも生き生きと自分らしく毎日を過ごしたいという市民の願いを実現し、子供から高齢者まであらゆる世代の市民が心身ともに健康に暮らしていけるまちづくりを目指して、市民が主役の健康づくり、健康を支え合う地域づくり、健康を支える環境づくりを理念に、ライフステージを次世代と成人期、高齢期に分類し、それぞれの現状や課題を基に各ライフステージに応じて柱となる分野ごとの取組内容を分かりやすい言葉で明記し、市民の継続した取組を推進していきます。

見開きの中に、ライフステージ別みんなが心がけたい取組ということで、具体的に取り組む内容を示させていただいております。

また、健康づくりには、病気の発生そのものを予防するための個人や家庭の取組に併せて、社会や地域、コミュニティーにおける人々の関係や結びつきも大きく影響することから、地域の共助を促進し、健康増進に結びつくよう、ソーシャル・キャピタルを活用した地域づくりを進めていきます。

この計画の推進に当たっては、市民や地域、それから職域、行政等が、それぞれの役割を果たすとともに、相互が協力し、連携しながら、市民の健康づくり、食育、自殺対策を進めてまいりたいと思っております。

最後に、今後につきましては、皆様からいただいたパブリックコメントの御意見を受け、4回目の策定会議を開催し、計画書を完成させる運びとなっています。

3月中には、策定委員長より市長に答申を行い、公表することとしております。

**○青山副委員長** 概要版ということで、分かりやすい内容になっとんじゃないかなと思うんですけど、3月に公表されるんですけど、どういう方法で公表されますか。

**○高橋保健課長** 冊子としましては、これまで製本した冊子を関係団体等にお配りをさせていただきます。また、市民の皆様には、この概要版が市民に取り組んでいただきたい内容というものでこの概要版を作っておりますので、これを見ながら皆さんに取り組んでいただきたいということで、広報紙と一緒に各戸に配っていただこうと思っております。

**○青山副委員長** これをそのたびに目にするというのは、なかなかないんじゃないかなと思うんです。健康づくりカレンダーが配布されて、我が家でもそれをトイレに貼って、内容的にも分かりやすいし、それから5分なり、トイレにおいて読み切れる内容だったんで、とてもいいなと思ったんですけど、今年、まだできていないようなんですけど、そういったようなものを作って、できるだけ、一番最後のページでもいいんですけど、こういったようなものがよく目につくところに、家なんかで貼って見られるようなことも考えていただけたらと思うんですけど、健康づくりカレンダーも、ああいうカレンダー方式だと、ずっとあれを見る機会があるんで、そういうことについてはいかがでしょうか。

**○高橋保健課長** 健康カレンダーにつきましては、国保特別会計で作成をしているものです。今年度、少し財政的に厳しいので、作成が、今、滞っておりますが、寄附等をいただきましたので、4月からの年度カレンダーを作成する予定で、現在、準備をしております。

健康カレンダーは、いわゆる民間業者が作成したものでありまして、備前市の健康課題であるとか備前市が目指す内容のものが現在は書かれておりません。

この健康びぜん21及び食育、それから自殺対策のこの計画については、今年度、作成が完了した後、来年度、その健康カレンダーに内容を入れていくのかどうかは、今後、協議していきたいと思えます。

**○青山副委員長** ぜひ、そういったようなものに盛り込んでいただけたら、周知ができるんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。

**○立川委員** 健康びぜん21、食育、それから自殺対策計画、それぞれさっきおっしゃったように策定委員会があるかと思うんですが、どの程度外部の有識者が入っているのか、委員構成を教えてくださいなと思います。

**○高橋保健課長** 健康づくり推進協議会という会が保健課にはありまして、この健康びぜん21、食育推進計画、自殺対策計画を、平成16年から健康びぜん21は作って、そのときからその計画の進捗状況を、評価を見ていくという会を実施してきました。

皆様のサイドブックスにお示ししております素案の138ページに、健康づくり推進協議会1

9名の名簿を掲載しておりますので、後ほど御確認いただけたらと思います。

○立川委員 スペシャリストも入っているというお話もお聞きしておりますので、最後に頻度だけ教えていただけますか。3か月に1回、2か月に1回、1年に1回、そこら辺だけ。

○高橋保健課長 今年度は策定会議ということで年4回、この計画の今までの第2次の計画の評価、それから課題の抽出、それから来年度からの計画の策定ということで4回行いましたが、例年は、健康づくり部門として2回、食育推進部門として1回の計3回を行っております。

○中西委員長 ほかにはございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

備前市の行政を進めていく上で、この計画というのは一つの大切な指針だと思うんですね。これについてパブリックコメントを求めておられるわけですが、議会にもきちんと上げてほしいなと思います。

2月の委員会での一つの議題としたいと思いますのでよろしくお願いします。

昨年、ある計画が成文ができてから委員会にかかってきて、その中でチェックされて、少し成文化されたものが訂正されるということがこの当委員会でありましたので、成文化されるまでには一度委員会に提出をお願いしたいと思います。

続いて、報告を願います。

○竹林こどもまんなか課長 第3期備前市子ども・子育て支援事業計画案について報告をいたします。

お配りしております概要版の案を見ていただけたらと思います。

まず、策定の趣旨ということでございます。

子ども・子育て支援法に基づき策定しているものでございます。本市の子供、それから子育て世帯の状況や計画の進捗状況を検証、評価するとともに、子ども・子育て支援に向けた施策を総合的に推進するために策定しているものでございます。

内容としましては、概要版の2ページを見ていただきまして、基本目標が大きく2つ掲げられております。それぞれの基本目標の下に、基本施策として掲げているものにつきまして、詳細な計画本体につきましてはこの基本施策の下に細かい事業を列挙している形としております。

おおむね、法律で定められております子ども・子育て支援事業が主たるものになっております。

また、法律で決められております事業を実施するに当たりまして、国庫補助金等がございしますが、補助金をいただくためのこの計画策定は要件にもなっているということから、そういった補助事業を盛り込むことが主な目的となっております。

概要の3ページにつきましては、具体的な事業の見込みの量というものを一覧表にしております。

計画の策定の経緯、経過につきましては、まず令和6年7月19日から9月13日にかけて

て、子育て世帯の保護者、それから小学校の5年生と中学校2年生に対しますアンケートを実施しております。

それを集計いたしまして、備前市の子ども・子育て会議、こちらは令和6年10月と12月に2回開催しております。そちらで素案として諮りまして、今の形にまで作成をしております。

パブコメについてでございますが、今週22日から、1月22日から来月2月21日までをパブコメの期間として、現在掲載中でございます。

保健課の計画と同様に、詳細な計画につきましてはサイドブックにPDFデータで掲載をしているところでございます。

○立川委員 めくりまして3番目かな、事業の量の見込みと確保方策という一覧表があるんですが、その⑯番、親子関係形成支援事業というのがあるんですけど、イメージが湧かないんで教えていただけますか。

○竹林こどもまんなか課長 こちらの13番、14番、15番のあたりは法改正によりまして新たにできた事業になっております。

まだ、現状としては備前市は実施していない事業になっております。

来年度以降、他市町村の状況も収集しまして、できるところから実施したいと考えておりますが、事業内容について、資料が。

○中西委員長 課長、また事業内容については2月の委員会でもう一回、ここで諮るということで、立川委員、よろしいですか。

○立川委員 いいです。イメージが湧かなかったんで。

○中西委員長 計画というのはやはり大切なんで、委員会でも、一回、委員の皆さん、目を通していただきながらと思いますんで、よろしく願います。

ほかにはありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○藤澤病院総括事務長 新型コロナウイルス感染症、それからインフルエンザにつきまして、感染者数等の報告をさせていただきます。

資料を作成してお配りさせていただいておりますので御覧ください。

こちらの資料につきましては、従来からの作成されているものに最近の状況を追加させていただいたものであります。

備前病院、日生病院、吉永病院で実施しました新型コロナウイルス及びインフルエンザの検査数、陽性判定者数等につきまして、11月の中旬から1月19日までの状況をまとめたものになっております。

A3で左側がコロナの状況、右側がインフルエンザの状況になっています。

一番下のグラフは、岡山県が発表しております岡山県内の定点医療機関当たりの患者報告数のグラフであります。

こちらのグラフを見ますと、県の発表では年末年始に患者数が減少したということにはなっておりますが、報道等によりますと、医療機関が休診していたために受診者数も減少したためであろうというようなことを言われておりました。

市立病院のほうを見ていただくと、12月30日から1月5日のこの年末年始の週が、やはり当番医をさせていただいた関係で多くなっているということが見てとれると思います。

今現在につきましては、コロナ、インフルエンザともに、県が昨日、週の速報を出していますが、13日から19日の県の数では、コロナの患者は5,56、インフルエンザの患者は18,68ということで、インフルも30人を超えると警報レベルとされているようなんですが、こちらの30人は下回ったような状況であります。

**○守井委員** インフルは、12月16日—22日が93、12月23日—29日で207、その次は1月5日まで280と、急激に増えて急激に下がってきたような感じなんで、原因は何かあるんですか

**○藤澤病院総括事務長** 正確に原因と言われますと、私も分からないんですけど、この時期に、過去10年間でもやはり最多となったような報道というか、県の発表もインフルエンザの感染者数が過去10年間で最多となったようなことも言われておりましたので、今まではコロナの対策等を取られていたものが、やはりマスクをしないとか、そういうような状況もありまして一気に増えたのかなと思っております。

**○守井委員** ちょうど年末年始に当たるとるような感じで、天候は結構、そこそこは暖かかったかなというような感じなんですけど、年末年始の関係で、人ごみとかそういう関係が多いのかなという感じなんですか。

**○藤澤病院総括事務長** はっきりとは分かりませんが、そういう要素もあったのだろうと思っています。

**○立川委員** 12月にいただいていた書類と照らし合わせてみたんですが、コロナのほうはやっぱり12月16日以降、3桁台でずっと推移していると。11月いっぱい、12月の初めまでですと2桁台、これは多分ですけど、さっきおっしゃられたような原因かも分かりませんが、これは陽性者の重症度が出ていないんですけど、どんなもんですか。。

**○藤澤病院総括事務長** 重症度については掲載しておりませんが、入院されるような方については、吉永病院では入院しておりませんので、そういう方は岡山市内の病院に送ったりとか備前病院にお願いしたりということをしていると思います。

重症度について統計は取っていません。

**○立川委員** 重症度の関係もまたお調べいただければ助かるかなと思います。

それと、インフルエンザなんですが、11月と比べると、12月になると本当に三桁もかなりアップしていると。院内のほうはどういう状況なんですかね。

病院内、検査数、それぞれ桁が違うぐらい増えてきているんですけど、これはどっちが多いで

すか、持込みが多いんでしょうか、入院患者さん、その辺はどうですか。

○藤澤病院総括事務長 こちらの検査数はほとんど外来の検査数になっておりまして、入院というよりは外来患者さんの検査数となっております。

○立川委員 昨日、ある先生とお話ししたんですけど、院内感染が困るんやと、こっちのナースがなった、こっちの先生がなったと、そしたらもう先ほど課長がおっしゃったように医療が逼迫してきますんでね、職員が休むと。その辺の対策は何かしておられるんでしょうか。

○藤澤病院総括事務長 通常の感染対策というのは、当然ふだんからさせていただいているんですけど、吉永病院では面会制限を、比較的予約がなしということにしていたんですが、1月の頭のあたりから、予約制に一旦戻らせていただいております。

あとの二病院は、日生病院はずっと予約制を取っておりますので、そのまま、備前病院は予約制を取らずに、そのまま継続しているということでしたが、とにかくこういう状況であるというのはどの病院も認識しておりますので、ふだんより気をつけて感染対策には当たっているということでございます。

○中西委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○藤澤病院総括事務長 年末年始の当番医のことについて御報告させていただきます。

年末当番医なんですけれども、和気医師会館内で、当番医の日は2つの医療機関が当番医として当たっております。そのうちの一つを、12月29日と1月1日に備前病院が、1月2日には日生病院が担当しています。それから、12月31日と、それから1月5日日曜日に吉永病院が担当させていただいております。

12月29日の備前病院が60名程度の患者だったということです。12月31日と1月1日が多くて、12月31日の吉永病院で約140人、備前病院が1月1日が約120人、1月2日の日生病院では約80人の患者さんが受診されたということで聞いております。

コロナ禍以降、こういう流行の時期には物すごく休日当番医の患者さんが多いなと感じているんですけれども、特にやはりほとんどが発熱患者さんの方であったということで、待ち時間が長くなって、御迷惑がかかったようなこともあったようです。

ちなみに、1月19日、先週、当番医は吉永病院であったんですけども、41名ということで、通常の当番医の状況に戻ったかなという感じです。

○立川委員 年末年始に異例の9連休というところで、大変御苦労いただいたと思いますが、患者さんの、多分外来の方が多かったかと思いますが、やっぱり院内で処置できた、それから転院をしていただいた、紹介させていただいた、どの割合が多かったんですか。専門外もいらっしまったと思うんですけど、その辺の状況をお聞かせいただいたらと。

○藤澤病院総括事務長 ほぼ受診をされて、診察して、それから薬の処方とかをさせていただいたというような状況ですので、転院等があったかどうかは、今聞いてはいないんですけども、

何とか対応できたかなという感じのようです。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

年末年始に当たって、市立病院が本当に地域医療の中核として奮闘してこられたこと、職員の皆さんも大変だったと思いますけど、本当に御苦労さまでした。

また引き続き、来年も、この年末年始は市立病院が大きなウエートを占めるといいますんで、お世話になるといいますが、また御迷惑をかけますけどもよろしくお願ひします。

続いて、お願ひします。

○春森教育政策課長 ALTについて委員会から報告をという形になりましたので、報告させていただきます。

教育文化交流協定につきまして、議案審議いただき、議決いただき、ありがとうございます。今、現状、その協定等に基づいてALTの事業を進めているところですが、本日、いろいろ報告するものができたらしたいと思ったんで、事前に検討していたんですが、現時点では内部的な調整中な部分がたくさんございまして、今現時点で報告するべきことがございません。

2月のときには、それなりに整えた形で報告させていただけたらと思いますので、御理解いただけたらと思います。

なお、交流協定につきましては、今現在、そういった形で署名する形のスケジュールで調整できたらなという形で今進めておりますので、こちらについても、また2月に報告できたらなと思っております。

○中西委員長 報告は終わりましたが、質疑がある方はおられますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

大学の規模については分かりましたか。

○春森教育政策課長 コルドバ大学なんですけど、別段、入学の時期というのが1年間に何回もできるようになっていて、1学期というのが8月スタートらしいです。それから、2学期というのが1月スタートということらしいです。なので、その登録によって人数が変化しますので、今確認させていただいた2024年から2025年度の第1学期、昨年8月から11月の登録データのほうで御回答させていただきます。

コルドバ大学の現在の学年度の総登録学生数は3,671人とお聞きしております。そのうち、教育学部の総登録学生数が1,376人と、コルドバ町からお聞きしております。

あと、我々もホームページとかで調べたいと思ったんですが、ホームページはございません。フェイスブックも、実は私も初めてこのコルドバ町を聞いたときに、フェイスブックがあるのは確認していたんですが、現状、今日、報告しようと思ったときに、フェイスブックを開こうとすると開かないので、インターネットの世界で確認するのができないのが現状で、多分、委員の皆さん、調べてもなかなか出てこなかったと思いますが、現状の人数としてはそういった形になり

ますし、もし大学のほうに連絡するためのメールアドレスとかも確認はしておりますので、御理解いただけたらと思います。

○中西委員長 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで報告事項を終わります。

暫時休憩したいと思います。

午前10時07分 休憩

午前10時21分 再開

○中西委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

\*\*\*\*\* 所管事務調査 \*\*\*\*\*

これより所管事務調査を行います。

環境保全についての調査ということで、環境課より、資料を御提出していただいております。

前回同様、海ごみ対策事業については当委員会の所管外の事業も多くありますことから、委員におかれましては所管内での質疑に御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

ただ、資料につきましては、担当課の範囲を超えて調査をしていただいておりますので、その点、お含みおきいただきたいと思います。

○岡村環境課長 資料に沿って御説明をさせていただきます。

まず、令和5年分の事業になりますが、海ごみの回収処理ということで、11事業を令和5年度、実施しております。

それと、ほかにごみの啓発抑制ということで、2事業を行っておるところでございます。

この中の回収量でございますが、約7トンの海ごみの回収を行っております。

それから、それぞれの事業の参加延べ人数になりますが、合計で592人の参加をいただいて、海ごみ回収を行っておるところでございます。

また、参加の船の数ですが、33隻の船を使って海ごみ回収をやっておるところでございます。

それから、一覧にはございませんが、リフレッシュ瀬戸内、それから学生のボランティア団体さん、IVUSAさんに参加をしていただいて、海ごみ回収を行っておるところでございます。

○中西委員長 所管外も含めて調査していただいてありがとうございます。

前回のときに、どのような事業があって、どのくらいの量を回収しているのかというのがよく分かりませんでしたので、課長にお願いをしてこういう資料を提出していただきました。

皆さんのほうから、何か御質問はありますでしょうか。

○土器委員 海岸のごみを拾うるわけですか。

○岡村環境課長 そうです。海岸、それから無人島、島、そういったところのごみの回収をやっておると、それから漁協さんが船で網等々を使われてごみの回収というようなこともしていた

だいておるところでございます。

○立川委員 4番の事業は110人という人数が上がっているんですけど、これは多分学生ボランティアが入っとなじまないかと思うんです。一緒に行った記憶があるんですけど、これは多分夏に分だったら、そこへボランティア学生が入っていると思います。

○岡村環境課長 学生さんが入っとなるかどうかというのは、私も把握はしていないんですが、この事業は、鹿久居島の沿岸における海岸漂着物の回収及び処理ということでやっておるところでございます。

○立川委員 大体延べ人数は、これはどんと多いでしょう、110というのは。大体、三、四十人ぐらいだと思うんですけど、夏にやっていたら、我々も一緒に行きましたけど、学生がかなり入っていると思うんで、今、課長の御説明では、そのほかに学生ボランティアということだったんですけど、多分入っているんじゃないかなと思いました。

○中西委員長 環境課の職域を超えている、産業振興課の部分になりますんで、あまり無理のない範囲で。

○岡村環境課長 事業自体は産業振興課でやっていますが、その中で海ごみの回収した後の処理、それから回収したときの分別だとか、そういった部分で環境課も行って一緒にやっているというような状況でございます。

○中西委員長 それぞれ事業担当が替わるわけですが、結局、パッカー車で、あと運ぶという事業がありますから、これは環境課がそこで全部かんでいるわけですよ。

○岡村環境課長 そうです。環境課としてはそういった形でその事業を実施しとんですが、その後、環境課では、それぞれ分別したものを最終処分を行うというところまでをやっておるところでございます。

また、例えばですが、発泡スチロール、こういったものはインゴットにして業者にキロ42円で引き取ってもらう。それから、ペットボトルにおきましては67.7円で業者に引き取っていただいております。

あと、また金属類、アルミ缶もキロ202円、それからスチール缶キロ47円、それから瓶になりますが、白瓶と茶瓶、これがキロ0.5円というような形で、それぞれ引き取っていただいて処分をするというようなことを行っておるところでございます。

○立川委員 事業担当課はそういうことで、産業振興課、それから日生総合支所が受け持っておられるんですけど、これは推進事業費として出されるから窓口がそう担当されていると思うんですけど、その課が。これは、県かどこかの補助金は出てくるんですかね、こういう事業で。

○岡村環境課長 今、お手元にお配りしとるこの一覧ですが、これは岡山県の補助金をいただいてやっとなる事業でございます。

この表にございますその補助率、0.8、0.9というような形で、8割補助、9割補助、これは離島と、それからそれ以外のところというような形で補助率も変わっているというような状

況でございます。

また、リフレッシュ瀬戸内だとか、それからまた学生さんのボランティアでやるものは、またうちが絡まずに、直接そういった団体に補助金を取りに行つて、そういった事業をされておるといふことでお聞きしております。

○立川委員 0.8の補助率、これは県事業だろうと、市のほうは幾らか負担、今出しておられるんですか、補助金で。

○岡村環境課長 市の歳入で県の補助を入れるというような形で行つておるところでございます。

○立川委員 ということは、県補助金をもらつて、歳出で出しますよ、一般会計から持ち出しはなしという解釈ですかということ、幾分出しているんですか。

○岡村環境課長 この補助率から出た部分と言うたらいいですかね。それが市の持ち出しというような形です。

○立川委員 0.2、市費が出ているよという解釈をしておきますが、これをやっているところによりますと、ほかの財源が出ているところがあるじゃないですか。例えば財団から出るととか、B&G、それからセブンイレブンの財団から出るととか、そういったところは把握しておられるんですか。

○岡村環境課長 そのあたりは把握しておりません。

○守井委員 備考のところに書いてある過疎地域というエリアと、それから離島地域というて書いとんじゃけど、この意味合いがどんなかなというんが1点と。

それから、事業実施場所の一番下の12番のところなんじゃけど、吉永小、三石小というて書いておられるんですけど、これは小学校がしたという意味か、それとも吉永地域、三石地域でやったという意味か、その辺はどうなんかなと。

○岡村環境課長 事業の実施場所としまして、頭島、それから吉永小学校、三石小学校で、それぞれの海ごみの発生抑制に対する事業を行ったというところでございます。

○守井委員 地域じゃろう。小学校の中でやったという意味か。

○岡村環境課長 そうです。

出前講座啓発事業でございます。

○守井委員 過疎地域と離島地域は。

補助率の違いかな。

○岡村環境課長 備考欄の過疎地域と離島地域でございますが、離島地域が大多府島、船でしか行かれない場所に関しましては9割の補助で、それ以外の場所が8割の補助というようなことになります。

○青山副委員長 日本財団が瀬戸内オーシャンズXということで瀬戸内の4県と包括連携協定でやっている事業があると思うんですが、備前市はどういう関係、連携をされていますか。

○岡村環境課長 瀬戸内の4県、岡山県、広島県、香川県、愛媛県と日本財団が行っている事業になります。

備前市としてですが、まさに環境課としても、このオーシャンズXに出ていきまして、パッカー車や人を出しているというような状況でございます。

○青山副委員長 この11、13になるんですか、その中でこのオーシャンズXでやっている事業というのは分かりますか。

○岡村環境課長 今お手元にお配りしております資料は、あくまでも岡山県の補助金を使った一覧ですので、オーシャンズX等々はこの一覧には入っておりません。

○青山副委員長 また、オーシャンズXの関係の事業を一覧表で出していただくということは可能ですか。

○岡村環境課長 オーシャンズXのほうは、直接、環境課がやっていない部分もありますんで、そちらの資料等々も、私どもでは持っていないというところでございます。

○青山副委員長 今、この一覧表を見ますと、海ごみということで、海岸とか離島を中心にやっているような事業だと思うんですけど、オーシャンズXの調査の中では、海ごみが、海で流れ、捨てられたというんですかね、そういうごみよりも、山や道路やに捨てて、川を伝って海へ流れるごみが大体7割だと聞いたんですけど、むしろそういったような山とか道路とか、そういったようなところのごみをどうにかするという発想でやられているような事業はないですか。

○岡村環境課長 これは私の記憶になるんですが、例えば岡山市の南区等々では、水田等々がたくさん広がって用水路がたくさんあります。そういったところで、オーシャンズXで川のそういった漂流ごみと言うたらいいですかね、そういったのを回収するようなことをやるとするのは記憶しております。

○青山副委員長 私も、笹ヶ瀬川ですね、住民が出て、カヌーなんかを使ってやっているということも記事になっったりして、出ております。

例えば備前市内でクリーンキャンペーンをやっているようなところ、あるいはボランティアで道路のごみ拾いをやっているようなところがあると思うんですけど、そういったようなところと連携して、あるいは積極的にそういう川とか道路、山、そういったようなところのごみ拾いをやるような、そういう取組というのは、今まで備前市で、環境課でやっとなったということはありますか。

○岡村環境課長 環境課でやっとなる事業としましては、例えばですが、環境衛生指導員さんが中心になって、海ごみとはまた別の話になってくるんですけど、不法投棄等々の回収を行ってはおるところでございます。

○青山副委員長 また、そういったような海ごみの回収関係と併せて、さっき、山とか川とか道路のごみの回収ということにも目を向けていただいて、やっぱりごみというのは全体のもので、それが移動するというだけのことだと思うんで、そういう企画もしていただけたらと思うんです

が、あるいは補助金を出していただく処置をしていただけたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

○岡村環境課長 環境課として、それとは別に、啓発ということで、看板の設置だとか、そういったポイ捨てなんかをしないような啓発等々も同時には行っておるところではございます。

また、今、お話にございました補助金に関しましては、今後、検討をしていきたいと考えておるところでございます。

○青山副委員長 捨う行為をやっていると、その人は捨てないと思いますし、捨てないということがごみの軽減にもつながると思うんで、ぜひ啓発、あるいは企画、あるいは補助金というところで、考えてやっていただけたらと思います。

○藪内委員 ここに回収量、トン数は書かれてあるんですが、一応、環境課として、集まったごみをよく見ていただいて、読み取れることがいろいろあるんですよ。ごみの種類とか、量的なものでいっても、そこをやっぱり環境課としてよく見ていただいて、いろいろ指示なりあれば、後々、指示していただくと。このトン数だけでなく、そういうこともやっていただきたいと思うんです。

○岡村環境課長 私も回収に数回行っております。今、委員さんが言われるようなことも目で確認しております。備前市以外のごみ、他県から流れてきたごみ、そういったものを、名称等々が入るとるごみもありますんで、そういった部分では、現場で確認もしておるところでございます。

○中西委員長 ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で環境保全についての調査研究を終了いたします。

所管外の資料も含めて作っていただいて、ありがとうございました。

以上で環境保全の調査研究を終了いたします。

説明員の方は御退室いただいて結構であります。ありがとうございました。

○馬場総合支所部長 所管は全然違うんですけども、吉永の屋根付きドーム、それからインクルーシブ室が、1月にオープンしましたので、また御覧いただければと思います。

日生につきましては、3月をめどに今工事を進めておりますので、そちらのほうも、できましたらまた御報告を差し上げようと思いますので、よろしく願いいたします。

\*\*\*\*\* 委員派遣 \*\*\*\*\*

○中西委員長 それでは、閉会中の継続調査事件の調査を行うため、議長に対し、委員派遣の要求を行いたいと思います。

派遣委員については全委員を対象とし、実施日について、令和7年1月27日月曜日から28日火曜日まで、派遣先については、さいたま市立大宮国際中等教育学校と茅ヶ崎市であります。調査事項につきましては、さいたま市立大宮国際中等教育学校は教育行政についての調査研究、

茅ヶ崎は環境保全についての調査研究をと考えております。

それでは、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

委員派遣に関する手続につきましては、先ほど御案内したことに変更等があった場合を含め、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

以上で本日の厚生文教委員会を終了いたします。

**午前10時46分 閉会**